

令和5年度 第1回日本脊椎脊髄病学会 安全医療推進委員会 議事

2023.03.28 (火) 18:30-19:10

場所：オンライン会議（会議主催地：名古屋大学医学部附属病院 会議室）

出席委員： 高橋（担当理事） 今釜（委員長） 酒井 西田  
寺井 中西 町野 相澤 大谷 加藤  
須田 手束 宮腰 川口 伊藤（書記）（敬称略）  
欠席委員： 村上 奥田 湯川（敬称略）

## 議事

### 1. 報告事項

#### （ア）日本脊椎脊髄病学会理事会（2023年3月）：高橋先生

理事会報告がされ、下記内容を確認した。

1. 脊椎内視鏡 UBE (Unilateral Bi-portal Endoscopy) について、ワーキンググループが立ち上がった。
2. 某大学からヘルニアに関する論文投稿に関して、内容がメーカー推奨の subligamentous type 以外の transligamentous type や再発ヘルニアに対して使用している報告であり、議題に挙げられていた。加えて、関東整形災害外科学会で再発ヘルニアに対するヘルニアの使用経験の報告があり、将来的な適正使用に関して議論が必要ではないかと議題に挙げられていた。
3. 大阪の某クリニックで腰椎麻酔で脊椎手術を行おうとした際に手術前に心肺停止になった症例があり、奥田先生と寺井先生に対処していただいた。この件に関して波呂理事長に報告した。今後、報告があり次第、正式に議論する方針。

#### （イ）貸出器械 (Loan Instruments) 使用患者が後日プリオン病と判明した事例報告（日本整形外科学会より）：酒井先生 (JOA 安全医療推進委員会アドバイザー)

酒井先生から下記報告がされた。

1. 貸出器械洗浄・滅菌確認書を作成し JOA 理事会に提出した。JOA 理事会で確認書の運用手順について JOA 安全医療推進委員会で検討する方向となったため、JOA 安全医療推進委員会で検討することとなった。そのため、今後は必要時に酒井先生からご報告いただける予定。

### 2. 検討・報告事項

#### （ア）脊椎脊髄手術における周術期抗血栓薬使用の安全性に関する研究：

## 酒井先生、手束先生

手束先生から下記報告がされた。

1. SSRR への投稿論文 (Title: Management of antithrombotic drugs before elective spine surgery: a nationwide web-based questionnaire survey in Japan) がアクセプトされた。

### (イ) 脊椎手術における部位確認に関する研究：川口先生

川口先生に代わり今釜先生から研究報告について下記確認がされた。

1. 研究内容を JSR へ論文投稿しており、順調に進捗している。

### (ウ) プリオン病感染予防についてのアンケート調査：酒井先生、町野先生

町野先生に4月のJSSR 学術総会における学会主導研究セッションで発表予定の2演題の予演を行っていただいた。

1. プリオン病感染予防についてのアンケート調査

確認事項：啓発活動のため、プリオン不活化のための洗浄・滅菌が61%は高いとは思えないという認識とする

2. 脊椎脊髄手術の周術期合併症調査

提案事項

(ア) 高齢者が増えているが、内視鏡手術が増えていないことに関して日本整形外科学会の内視鏡調査について確認

(イ) 合併症毎の手術の内容について確認することで注意点について考察

## 3. 次回委員会開催日

- ・【次回】2023.5.30 (火) 18時30分～
- ・【次々回】2023.9.26 (火) 18時30分～